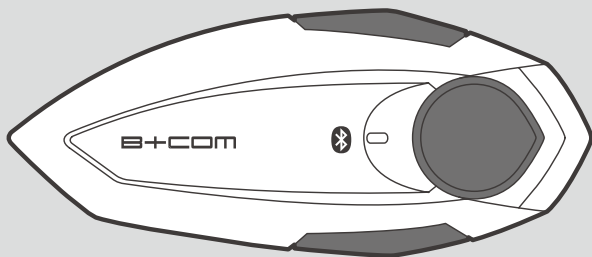


● SYGN HOUSE

B+COM

TALK

ユーザーズマニュアル



安全上の注意

WARNING

運転中は安全運転を最優先として
B+COMをご使用ください

- B+COM TALK は精密部品で構成された電子機器です。ご使用になる前に、この「使用上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ユーザーズマニュアルには、お使いになるあなたや、他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全なご使用のために守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになる場合は、保護者などの大人がユーザーズマニュアルをよくお読みになり、安全で正しい使い方をご指導ください。
- オートバイ運転中の携帯電話や通信機等の使用に関しては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
- オートバイ運転中に本製品を使用する場合、自己責任で安全運転を心掛けてください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解の上、本文をお読みください。



指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至ることを示します。



指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを示します。



指示に従わない場合、傷害に至る可能性があることを示します。

使用上の注意

警告

- 大音量で聴きながらの運転は危険です。運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながり、重大な事故の原因となります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所に避難してください。落雷や感電に見舞われる恐れがあります。
- 医療機器などの近くでは電源を切ってください。Bluetooth の電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。それらの機器をお使いの場合は、機器製造メーカーや販売店に電波による影響についてをご確認ください。
- 飛行機の中では使用しないでください。電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

危険

- 分解、改造、修理をしないでください。本製品の発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となり、ケガをする恐れがあります。弊社のサポート以外（お客様自身によるもの、他社等）での改造・修理・調整・部品交換等をされた場合は、保証、サポートの対象外となります。
- 水がかかる場所への放置、または水没させないでください。本製品の本体部は防水仕様ですが、長時間にわたり水がかかる環境下での使用は想定しておりません。また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイク、スピーカー等、接続パーツの着脱を行わないでください。発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 高温多湿になる場所、熱器具の近くでの充電、放置は避けてください。発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。
- 異常状態のまま使い続けないでください。発煙や焦げ臭いなどの異常を放置して使用すると、発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となります。ただちに使用を中止して、販売店に検査及び修理の依頼をしてください。
- ボリューム設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 自動ドアなどの近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知器の自動制御装置が誤作動する恐れがあります。
- 気温の低い場所から、屋内などへ移動した場合、本体内に結露が発生することがあり、そのまま使用を続けたり、充電をすると発熱、破裂、発火、故障の原因となります。

電池に関するご注意

B+COM TALK は内蔵バッテリーにリチウムイオン電池を使用しています。

警告

- バッテリーパックから漏れた液が目や肌に付着した時は、こすらずに清潔な水で洗い流してください。洗い流した後は、早急に眼科や皮膚科などの医師の診断を受けてください。漏れた液が本体内部に残っていることがあるので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 家庭用コンセントからの充電の際は指定の AC アダプターを使用してください。推奨*以外の AC アダプターを使用すると、発熱、破裂、発火、故障の原因となります。
※ PSE マーク付きの市販 USB チャージャー定格：DC5V-0.6A 以上 1.0A 以下
- AC アダプターを使用する場合、指定以外の電源、電圧で充電しないでください。交流 100V-240V 以外の電源、電圧で充電すると火災や故障の原因となります。
- 長期間使用しない時は充電ケーブルを本体ユニットから抜いてください。挿したままの充電状態で放置すると、発熱、破裂、発火、感電、故障の原因となります。
- 充電時には本体と充電機器のコネクタ端子にホコリ、液体等の異物がなく十分にご確認ください。雨天使用時など製品を濡らした際は、水分が付着していないかご注意ください。水濡れ充電、異物混入充電は、火災や感電、故障の原因となります。
- 内蔵バッテリーは消耗品です。劣化した状態の内蔵バッテリーで製品を使用し続けるとバッテリーの発熱、破裂、発火、故障の原因となります。満充電後の使用時間が短くなった場合は、内蔵バッテリーの劣化が考えられます。内蔵バッテリーの交換（有償）を推奨します。弊社サポートセンターにご連絡ください。

注意

- USB ジャックに金属片を接触させないでください。内蔵バッテリーがショートして発熱、破裂、発火する恐れがあります。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

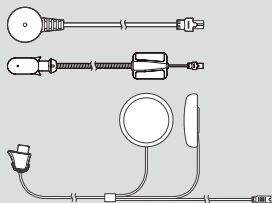
製品が不要になった場合には、お住まいの市区町村または自治体のルールに従って処分してください。

重要なお知らせ

**保証書(本書裏ページ)が無い場合は、
いかなる理由でも保証対象外です！**

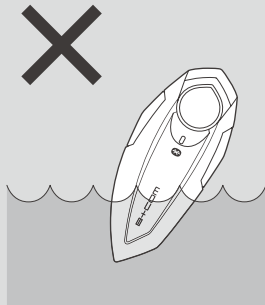
本体ユニット以外は 消耗品です

マイクやスピーカーなどは消耗品のため、過度な使用や過度な応力による破損・断線、経年劣化等の場合は、オプションのスペアパーツをご購入ください。本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障は有償（修理費用、送料等）となる場合があります。



本製品は水中使用は 保証しておりません

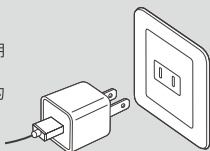
本製品の本体部は防水構造となっており高い防水保護性能を有しています。しかし、マイクやスピーカーは防水仕様ではありません。オートバイ用のヘルメットへ正しく装着してオートバイ走行環境での使用のみ防水性が発揮されます。また雨天走行後は、本体の水分を拭き取り、マイクやスピーカー、本体のコネクタの水分を拭き取ってください。濡れたまま放置すると端子部が錆びて充電や音声が正しく機能しなくなる恐れがあります。



バッテリーの劣化にご注意ください

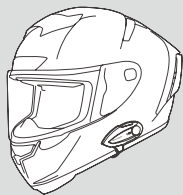
電池残量が低下したまま保管すると、内蔵バッテリーが短期間で劣化して使用できなくなります。

使用後、保管前には必ず充電し、長期保管する場合は定期的な充電（月1回程度）をしてください。



本製品およびヘルメットの取り扱い、大切に、そして慎重にやさしく！

ヘルメットはライダーの安全を守る大切なギアです。そのヘルメットに装着して使用する事を想定して設計されており、強い衝撃や無理な力での取り扱いに耐えうる強度は有しておりません。大切にご使用ください。



お客様ご自身の利用環境に起因する 自然消耗、磨耗、劣化による破損・故障・障害の場合

本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障は有償（修理費用、送料等）となる場合があります。

使用する電波について

本製品は、日本国内の電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

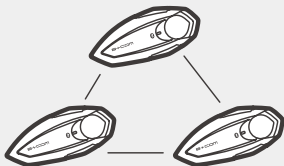
本製品は2.4GHz帯の電波を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品とこれらの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の使用をお止めください。

製品特徴

いつもの仲間と、気軽にトークできる B+COM TALK。

B+COM TALK 同士で、最大3台のインカム通話を楽しむことができます。もちろん、音楽・ナビゲーションなどのオーディオ再生、携帯通話や音声認識機能にも対応。省電力設計なので、丸一日のツーリングでも安心。走行中もわかりやすい4つのボタン配置で操作もかんたん。

いつもの仲間と最大 3人でグループトーク



スマートフォンの 音が聴ける

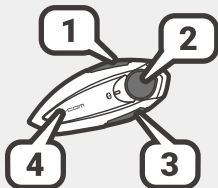


音楽再生



ナビ音声

4つのボタンで かんたん操作



ハンズフリーで 通話できる



電話通話

音声認識機能で 便利に使える



省電力設計



目次

セット内容	P.08
ヘルメットへの取付け	P.09
本体ユニット各部の名称	P.09
電源オン / オフ	P.09
充電方法	P.10
バッテリー残量の確認	P.11
インカムとデバイスの動作パターン	P.12 ~ P.14
インカムのペアリング	P.15 ~ P.18
ペアリング済みインカムと通話する	P.19 ~ P.21
デバイスのペアリング	P.22 ~ P.23
ペアリング済みデバイスと接続する	P.24 ~ P.25
音楽を聴く	P.26
ナビ音声（レーダー警告音）を聴く	P.27
携帯電話を操作する	P.28
複数のデバイスと接続する	P.29 ~ P.31
本体を初期化する	P.32
こんなときは	P.34
操作早見表	P.35 ~ P.36

本ユーザーズマニュアルに記載されている内容を無断転載することは禁止されております。製品の仕様、ならびに本ユーザーズマニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。本ユーザーズマニュアルの内容に関してご不明な点などがございましたら、弊社WEBサイト (sygnhouse.jp) をご覧いただくか、「保証書」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、サイン・ハウスはライセンスに基づいて使用しています。

セット内容

製品パッケージには以下の内容が同梱されています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

B+COM TALK

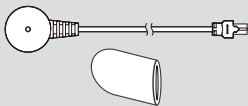
本体ユニット
×1台

※本体固定用
面ファスナー(オス)が
貼付けられています。



ワイヤーマイクユニット同梱品

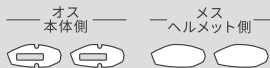
ワイヤーマイク ×1本
ワイヤーマイク用スポンジ ×1個



スピーカー固定用調整パッド
×4枚



本体固定用面ファスナー(オス、メス)
×2組



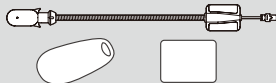
※出荷時オスとメスは一對になっています。

充電用USB Type-Cケーブル
×1本



ハイブリットアームマイクユニット同梱品

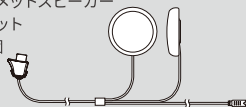
ハイブリットアームマイク ×1本
アームマイク用スポンジ ×1個
アームマイク固定用面ファスナー(メス) ×1枚



スピーカー固定用面ファスナー(オス、メス)
×2組 ※オスはスピーカーに貼付されています。



ヘルメットスピーカー
ユニット
×1個



ユーザーズマニュアル
(保証書付帯)
×1部



ヘルメットへの取付け

ヘルメットへの取付けについては弊社 WEB サイトにてご確認ください。

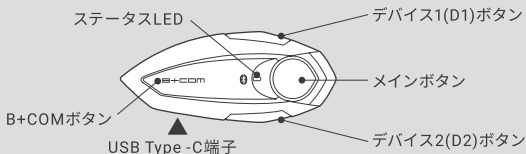
ヘルメット
取付情報



ハイブリッド
アームマイク
取付手順



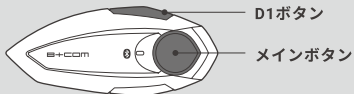
本体ユニット各部の名称



電源オン/オフ

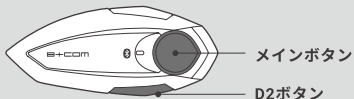
電源オン

メインボタンとデバイス 1(D1) ボタンを同時に 2 秒以上押す



電源オフ

メインボタンとデバイス 2 (D2) ボタンを同時に 2 秒以上押す

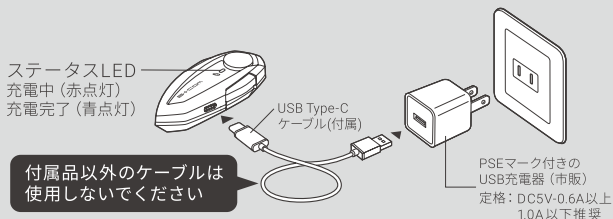


充電方法

B+COM TALK は内蔵バッテリーで作動します。本体ユニットと USB Type-C ケーブル (付属)、USB 充電器 (市販) をつなぎ、コンセントに接続してください。

※ 本製品には、USB 充電器は同梱されておりません。PSE マークの付いた市販の USB 充電器をご使用ください。

初めて使用するときは、必ず充電してください



! B+COM 本体ユニットの充電、およびソフトウェアアップデートについては、付属の「USB Type-C ケーブル」を必ず使用してください。市販の「USB Type-C ケーブル」を使用した場合、本体ユニットの故障、トラブル (発熱、発火) の原因となる恐れがあります。

! 充電前に USB Type-C 端子の水分、ゴミ、汚れ等を必ず除去してください。

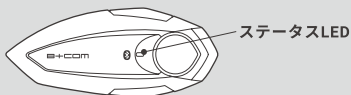
! 本体の USB Type-C 端子へ挿入する際は、無理な力を掛けずに、正しく確実に挿入してください。

! 使用後は必ず充電してから保管してください。長期保管時は、1 ヶ月に 1 回程度は充電を行ってください。

ツーリングなど使用後はバッテリー残量が少なくなっています。残量が少ない状態での保管は短期間でバッテリー性能の劣化につながります。使用後は「充電してから保管」してください。

バッテリー残量の確認

電源オン/オフ時、ステータスLEDの表示パターンおよび音声によって電池残量を確認できます



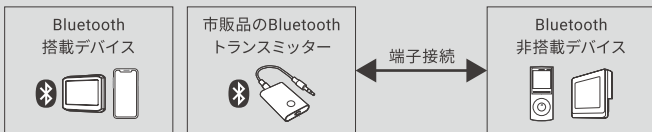
ステータスLED	電池残量、音声	状態
青 1 秒間点灯	電池残量 80% 以上	良好です。 そのまま使用可能です。
紫 1 秒間点灯	電池残量 50% 以上	直ちに充電が必要な状態ではありません。
赤 1 秒間点灯	電池残量 30% 以上 充電してください	まもなく充電が必要な状態ですが使用可能です。
赤 2 回点滅	パーポー（ビーブ音） 充電してください ※定期的にビーブ音が鳴ります	充電が必要な状態です。 充電してからご使用ください。

インカムとデバイスの動作パターン

<ペアリングについて>

B+COM TALKで各デバイス（スマートフォン、音楽プレーヤー、ナビゲーションなど）や、B+COM シリーズと Bluetooth 通信をするためには、最初にペアリング（初期登録）を行う必要があります。

デバイスの種類が違ってても、B+COM TALK 側のペアリング操作方法は同じです。



B+COM TALK と接続できるデバイスおよびインカムは最大で 3 台までとなります。

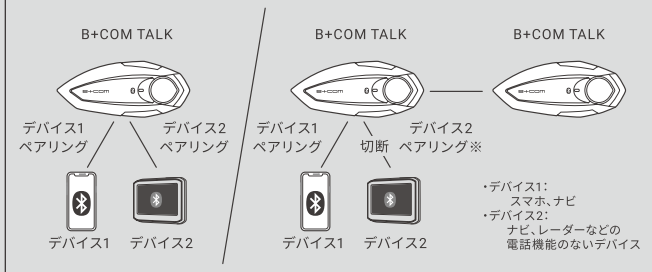
ペアリングには「B+COM」、「デバイス 1」、「デバイス 2」の 3 種類があります。

※ B+COM ペアリングすると、「デバイス 2」と接続できません。

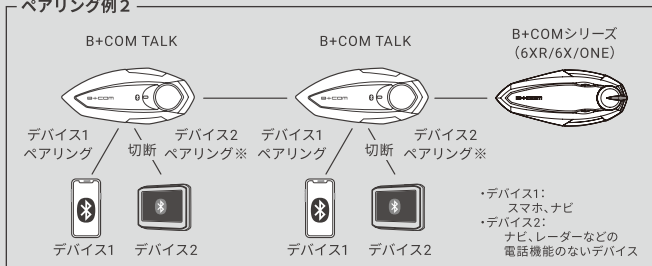
※ 複数のデバイスを接続した場合の動作例については、29 ページ以降を参照してください。

ペアリング例 1

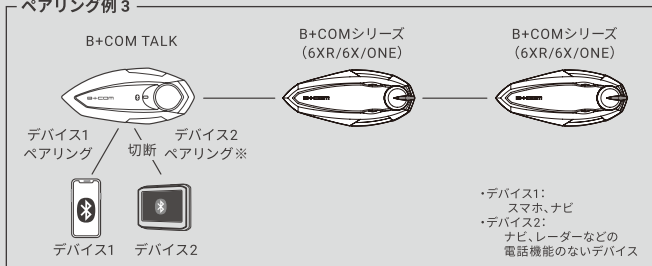
B+COM TALK 同士 + スマートフォン + バイクナビ



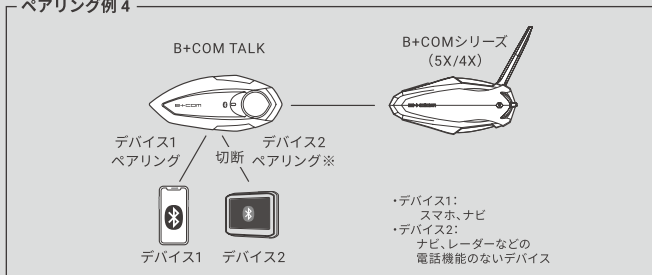
ペアリング例2



ペアリング例3



ペアリング例4



TALK ペアリング (TALK 同士 / 他の B+COM シリーズ)

インカム通話の方式により接続人数、接続方法に制限が発生します。

B+COM TALK 同士の場合 最大 3 人

他の B+COM シリーズの場合

(6XR/6X/ONE) の場合 最大 3 人

(4X Lite/4X/5X) の場合 最大 2 人

※ B+COM TALK 以外の B+COM シリーズを含むグループ通話時は B+COM TALK を必ずグループの端に接続します。(ペアリング例 3 : 13 ページ参照)

※ B+COM シリーズ (4X Lite/4X/5X) とのペアリング時は、4X Lite/4X/5X のデバイスペアリングモードに対して接続を行います。(ペアリング例 4 : 13 ページ参照)

<他モデル同士の接続時の注意点>

- 同一モデル同士の通話と比べて、通話音質、通信距離は劣化します。
- 5Xと接続した場合は、タンデム専用となります。

インカムのペアリング

< B+COM TALK 同士 > 2 台の B+COM TALK をペアリングする

1 台の B+COM TALK に対して 2 台までの B+COM TALK をペアリングさせることができます。

B+COM TALK を 2 台用意します。

① B+COM TALK の操作

(A) と (B) の B+COM ボタンを 3 秒以上長押しする

(A)



B+COMボタン

(B)



B+COMボタン

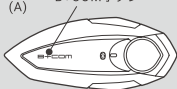
🔊 サウンド 「B+COM ペアリング」

② B+COM TALK の操作

(A) の B+COM ボタンを 1 クリックするとペアリング機器検索を開始し、ペアリングが完了すると自動的に通話が始まります。

(A)

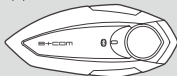
B+COMボタン



親 B+COM1
子

(B)

ペアリング →



親
子 B+COM2

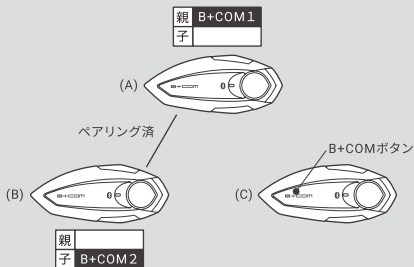
🔊 サウンド (A) : 「ポップ・ポップ・・・」 (サーチビーブ音) → 「B+COM1 接続」
(B) : 「B+COM2 接続」

< B+COM TALK 同士 > 3 台の B+COM TALK をペアリングする

B+COM TALK を 3 台用意します。

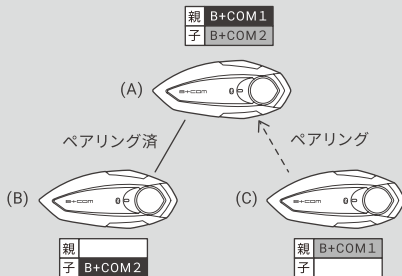
① B+COM TALK の操作

(A) と (B) のペアリングが完了した状態から、(A) と (C) の B+COM ボタンを 3 秒以上長押しする



② B+COM TALK の操作

(C) の B+COM ボタンを押すとペアリング機器検索を開始し、ペアリングが完了すると自動的に通話が始まります。



🔊 サウンド (A) 「B+COM2 接続」
(C) 「B+COM1 接続」

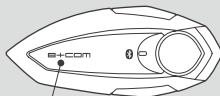
< B+COM TALK 以外とのペアリング > 2 台のインカムをペアリングする

① B+COM TALK の操作

電源オンを確認。電源がオフの場合は電源オンにする（9 ページ参照）

② B+COM TALK の操作

TALK の B+COM ボタンを 3 秒以上長押しする



B+COMボタン

🔊 サウンド「B+COM ペアリング」

③ 6XR/6X/ONE の操作

電源オンの状態で B2 ボタンを長押しする

6XR/6X

ONE



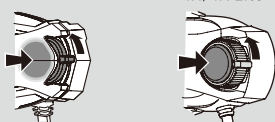
B2ボタン

③ 5X/4X/4X Lite の操作

電源オフの状態からデバイスボタンを押したまま、ボリュームダイヤルを上
に回した状態で 4 秒以上保持する

5X

4X/4X Lite



④ B+COM TALK 側の操作

B+COM ボタンを 1 クリックするとペアリング機器検索を開始し、ペアリングが完了すると自動的に通話が始まります。

B+COMボタン



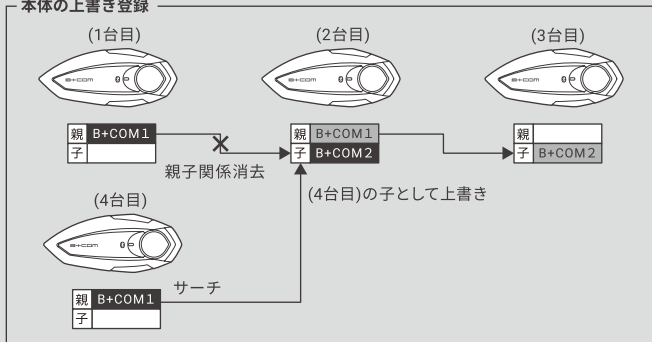
親	B+COM1
子	

(接続例)

< B+COM TALK 同士 > 本体の上書き登録

- すでに2台登録されている状態(親と子の両方が登録されている状態)で、さらに別の本体を登録しようとした場合は、新しい本体の情報が上書きされますのでご注意ください。

本体の上書き登録



ペアリング済みインカムと通話する

インカム通話の操作方法< B+COM TALK 同士の場合 >

通話開始操作

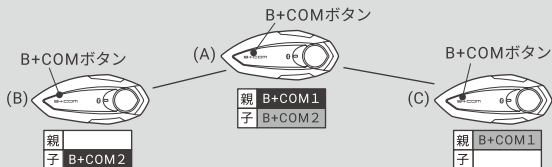
各TALKの電源起動後、5分間ペアリング済みのTALKを自動で探して接続を行います。

電源起動後に自動で接続ができなかった場合、以下の操作を行う事でペアリング済みのTALKを探して接続を行います。

手動再接続

(A)、(B)、(C)のB+COMボタンを1回押すと、それぞれペアリング済みの相手に接続され、インカム通話を開始します。

※必ず (A)、(B)、(C) 全員が B+COM ボタンを 1 回押してください。

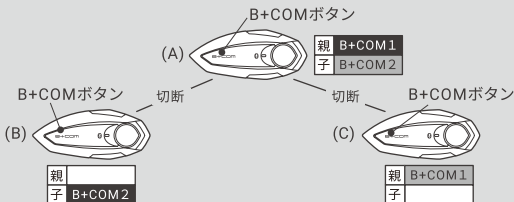


通話終了操作

インカム通話中の状態で、B+COM ボタンを1回押すとインカム通話を終了します。

このとき、接続されているすべてのインカムから切断されます。切断されたインカムは、自動再接続機能により検索を続けます。検索をキャンセルするには、B+COM ボタンを1回押してください。

例) (A) の B+COM ボタンを押した場合は、(B)(C) 両方を切断します。



🔊 サウンド

通信切断時「ピー」(ピーブ音)

インカム通話の操作方法<他の B+COM シリーズの場合>

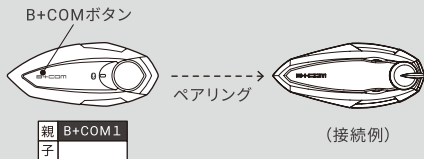
通話開始操作

TALKの電源起動後、5分間ペアリング済みの他のB+COMを自動で探して接続を行います。

電源起動後に自動で接続ができなかった場合、以下の操作を行う事でペアリング済みの他のB+COMを探して接続を行います。

手動再接続

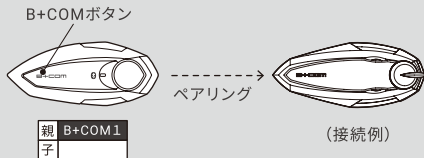
TALKのB+COMボタンを1回押すと、ペアリング済の相手に接続され、インカム通話を開始します。



通話終了操作

インカム通話中の状態で、TALKのB+COMボタンを1回押すとインカム通話を終了します。

このとき、接続されているすべてのインカムから切断されます。



※ 通信の接続、切断はTALK側から実施してください。

※ 6XR/6X/ONE、5X/4X/4X Lite側から接続/切断操作をすることはできません。

◎ TALKが他のインカムに対して再接続を実行している状態では、音楽、ナビ、レーダー音声を聴くことはできません。再度音楽を再生する場合は、B+COMボタンを押して、インカムのオートコネクトを停止してください。

自動再接続機能

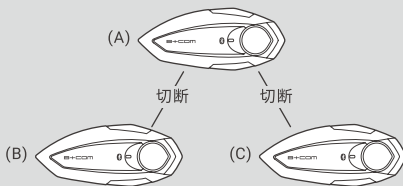
通話中に通信圏外に出ると通信が切断されます。このとき、ペアリングを行った機器間で、親から子へ8秒ごとに自動再接続を行います。自動再接続は5分経過するか、手動でキャンセルするまで実行し続けます。

※ 再接続をキャンセルしたい場合は、再接続中の「ピーブ音」が鳴っている間に B+COM ボタンを押してください。

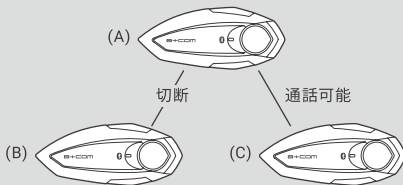
🔊 サウンド「ポプ・・・ポプ・・・」(ピーブ音) → 「キャンセル」

自動再接続の動作

通話中に (A) の通信が切断した場合



通話中に (B) の通信が切断した場合



再接続中

🔊 サウンド「ポプ・・・ポプ・・・」(ピーブ音)

再接続完了

🔊 サウンド「B+COM1 (B+COM2) 接続」

◎ TALK が他のインカムに対して再接続を実行している状態では、音楽、ナビ、レーダー音声を聴くことはできません。再度音楽を再生する場合は、B+COMボタンを押して、インカムのオートコネクトを停止してください。

デバイスのペアリング

デバイス1ペアリング(携帯電話/音楽プレーヤー)

「デバイス1ペアリングに最適な機器」

- ・ 携帯電話(リダイヤル発信操作/着信応答)
- ・ スマートフォン(音楽、ナビ、ラジオ、電話通話、ボイスアシスタント)
- ・ 音楽プレーヤー (AVRCP対応搭載機はリモコン操作可能)
- ・ オーディオトランスミッター
- ・ A2DP出力バイクナビ/レーダー

デバイス2ペアリング(ナビ/レーダー) ※ A2DP 優先割込み

ナビ、レーダー専用接続チャンネルです。

「デバイス1」接続よりも優先して A2DP 音声を出力します。

「デバイス2ペアリング」に最適な機器

- ・ HFP/HSP 出力のバイクナビ/レーダー

※ 「デバイス1」と「デバイス2」に接続した A2DP の音声を同時に聴くことはできません。
「デバイス2」で登録すると「デバイス2」の音声しか聞こえなくなるため、以下の機器は「デバイス1」への登録をおすすめします。

- ・ オーディオプレーヤー (iPod、ウォークマン[®] 等)
- ・ Yupiteru MCN /BNV シリーズ
- ・ トランスミッター
- ・ X-RIDE シリーズ

<デバイス割り込みアシスト機能>

「デバイス割り込みアシスト機能」は、2つのデバイスを同時に接続でき、「デバイス1」の音声よりも「デバイス2」の音声が優先して聞こえるようになります。

2つのデバイスを同時に接続して使用する際には、接続するデバイスを「デバイス1」または「デバイス2」どちらで接続するか決めて、それぞれ登録を行ってください。

「デバイス 1」へ登録する

① B+COM TALK の操作

電源オンを確認。電源がオフの場合は電源オンにする（9 ページ参照）

② B+COM TALK の操作

「デバイス 1」D1 ボタンを 3 秒以上
長押しする



🔊 サウンド「デバイス 1 ペアリング」

「デバイス 2」へ登録する

② B+COM TALK の操作

「デバイス 2」D2 ボタンを 3 秒以上
長押しする



🔊 サウンド「デバイス 2 ペアリング」

③ デバイスの操作

デバイス側の Bluetooth をオンにして、ペアリング操作を行う

登録可能な機器リストから「B+COM TALK V.O.」を選択

「接続済み」等の表示で完了です。PIN コードが必要な場合：0000

④ B+COM TALK の表示

LED 青ゆっくり点滅

🔊 サウンド「デバイス 1 接続」または「デバイス 2 接続」

- ◎ 一度ペアリングを行うと、デバイス情報が登録されます。デバイスの登録情報は本体メモリーに保存されるため、電源のオン/オフを行うたびにペアリング操作の必要はありません。
 - ◎ 「デバイス 1、2」に登録できる機器はそれぞれ 1 台、合計 2 台までです。「デバイス 1、2」それぞれ 2 台目以降に登録すると、先に登録した機器の登録が上書き解除されます。再度登録するには新たにペアリングが必要です。
 - ◎ 以下の場合は、再度ペアリングを行ってください。
 - ・オールリセットを行った場合
 - ・デバイス側で B+COM TALK の登録情報を消去した場合
 - ・B+COM TALK またはデバイスのアップデートを行った場合
 - ◎ 「デバイス 2」に登録したデバイスによっては 2 台同時に使用できない場合があります。
- ※ 接続機器の機種および OS バージョンにより、チャンネルの切り替えや、音声認識機能などで動作不安定になる場合があります。

ペアリング済みデバイスと接続する

「デバイス 1」、および「デバイス 2」に登録したデバイスを接続して使用できる台数は、それぞれ 1 台ずつ（合わせて 2 台）となります。

自動で接続する オートコネクト

B+COM TALK は、電源起動後の数秒間、登録済みのデバイスを自動で探して接続を行います。

手動で接続する マニュアルコネクト

B+COM TALK は、電源起動後に自動で接続ができなかった場合、以下の操作を行う事で登録済みのデバイスを自動で探して接続を行います。

① デバイス機器の操作

デバイス 1 と 2 にペアリング済みのデバイスの電源を入れるか、Bluetooth をオンにする。

② B+COM TALK の操作

B+COM TALK を起動すると、登録済みのデバイスに自動的に接続します。

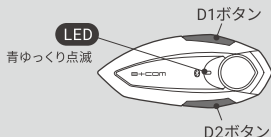


🔊 サウンド

「B+COM 起動」→「ポッポッポッ」（サーチ音）→「デバイス 1（デバイス 2）接続」

② B+COM TALK の操作

D1 ボタン、または D2 ボタンを押す。「デバイス 1」または「デバイス 2」に登録した機器に接続します。



🔊 サウンド

「ポッポッポッ」（サーチ音）→「デバイス 1（デバイス 2）接続」

◎「デバイス 2」への接続は、「デバイス 1」の音声出力がない状態で行ってください。

※ インカムペアリング情報があると、デバイス 2 への自動再接続は実行されません。インカムのオートコネクトタイムアウト、またはキャンセル操作後、デバイス側の手動操作によりデバイス 2 へ接続可能です。

🔊 サウンド

自動再接続切断時「ポッポッポッ・プー」（ブープ音）

◎ TALK が他のインカムに対して再接続を実行している状態では、音楽、ナビ、レーダー音声を聴くことはできません。再度音楽を再生する場合は、B+COM ボタンを押して、インカムのオートコネクトを停止してください。

デバイス側操作で接続する

B+COM 側からの接続を受け付けないデバイスの場合や、デバイス側操作で接続したい場合は、以下の方法でデバイスから接続を行ってください。

① B+COM TALK の状態

電源オンを確認。電源起動後のオートコネクタサーチが終了した状態。LED 青点滅

② デバイス機器の操作

デバイス側の Bluetooth をオンにして、登録済み機器リストから「B+COM TALK V O . O」を選択

③ B+COM TALK の表示

LED 青ゆっくり点滅

🔊 サウンド「デバイス 1 接続」または「デバイス 2 接続」

音楽を聴く

<B+COM TALKで音楽を聴く>

B+COM TALK は、登録済みのスマートフォンや音楽プレーヤーなどと接続することで高音質のステレオサウンドをワイヤレスで楽しめます。

未登録のデバイスと接続する→P.22～P.23

登録済みのデバイスと接続する→P.24～P.25

① デバイス機器の操作

デバイス機器側で音楽などを再生します。スマートフォンはアプリを開いて音楽やラジオを再生します。



<アプリ例>

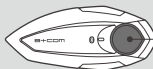
- 音楽プレーヤー
- ラジオアプリ
- Podcast
- その他音声コンテンツ

② B+COM TALK の操作

デバイス側で音楽などを再生すると、B+COM TALK のスピーカーから音声が出力されます。

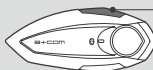
音楽再生中は以下の操作が可能です。

再生/一時停止



メインボタンを押す

曲のスキップ^{※1}



D1ボタンを1秒以上長押し

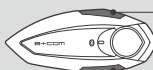
曲の頭出し、^{※1}

巻き戻し^{※1} ^{※2}



D2ボタンを1秒以上長押しで曲の頭出し、もう一度長押しすると1曲前に戻ります

音量調整



音量上げる：D1ボタンを押す

音量下げる：D2ボタンを押す

※1 AVRCP（リモコン機能）対応デバイスのみ操作可能です。一部のSONY ウォークマン®、Garmin 製ナビは非対応となっております。

※2 頭出しをしてからの再度 D2 ボタンを押す間隔はプレーヤーの特性に準じます。

ナビ音声(レーダー警告音)を聴く

<B+COM TALKでナビ/レーダーの音声案内を聴く>

B+COM TALK は、登録済みのバイクナビ、バイクレーダーやスマートフォンのナビの音声案内をワイヤレスで聞くことができます。

未登録のデバイスと接続する→P.22～P.23

登録済みのデバイスと接続する→P.24～P.25

① デバイス機器の操作

バイクナビやバイクレーダーの音声案内を開始します。



スマートフォンはナビを起動して音声案内を開始します。



② B+COM TALK の操作

デバイス側でナビの音声案内などを開始すると、B+COM のスピーカーから音声が出力されます。ナビの音声出力のプロファイルによって、聴こえ方が異なります。



A2DP のナビ

[音声再生プロファイル]

音楽プレーヤー、スマートフォンのアプリなどの音声出力と同じ

携帯電話着信時：ナビ音声出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

A2DP のナビ、レーダーの場合、音楽プレーヤーとの同時接続はできません。どちらか1台の接続になります。音楽を聴きながらナビの音声聴きたい場合、ナビに音楽を入れてナビ側のプレーヤーで再生してください。



HSP/HFP のナビ

[ハンズフリー/ヘッドセットプロファイル]

携帯電話、スマートフォンなどのハンズフリー通話と同じ出力

携帯電話着信時：ナビ音声出力を停止し電話の着信音に切り替わります。

音楽再生時：音楽が一時停止してナビ音声出力(音楽再生に自動で戻ります。自動で戻らない場合、B+COM TALK 側で操作してください)。

HSP/HFP 出力のナビ、レーダーの場合、携帯電話やスマートフォンとの併用は動作不安定になることがあります。

携帯電話を操作する

<B+COM TALKで電話をかける>

B+COM TALK は、登録済みの携帯電話と接続することで携帯電話のハンズフリー機能が使用可能です。

未登録のデバイスと接続する→P.22～P.23

登録済みのデバイスと接続する→P.24～P.25

ハンズフリー機能の操作

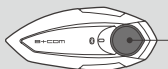
着信音が鳴ったら

着信応答



メインボタンを押す

着信拒否



メインボタンを
2回押す

終話



メインボタンを押す

リダイヤル

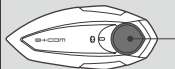
※ デバイス1に接続した
機器のみ



メインボタンを
3秒以上長押し

<音声認識機能> Siri / Google アシスタント

① B+COM TALK の操作



メインボタンを
2回押す

② ボイスコマンド



※「Hey Siri」OK Google」の発話による起動はできません。

※ 携帯電話通話や音声認識機能を利用する場合、必ずマイクを取付けてお使いください。

複数のデバイスと接続する

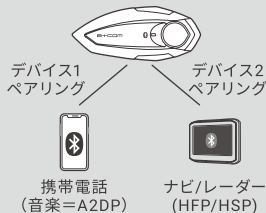
1 台の B+COM TALK に対して複数のデバイスを接続している場合、それぞれの状況に応じて以下のように動作します。

携帯電話で音楽を再生しながらナビ / レーダーを使用する

携帯電話で音楽 (A2DP) を再生中にナビ / レーダー (HFP/HSP) を受信すると、音楽の再生を一時停止して GPS ナビゲーションガイダンスが再生されます。GPS ナビゲーションガイダンスが終了すると、自動的に携帯電話の音楽再生を再開します。

※ デバイスの種類 / バージョンによって動作が異なる場合があります。

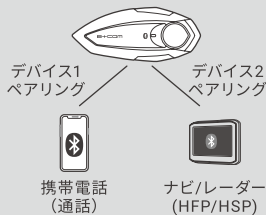
音楽と GPS の使用



携帯電話で通話しながらナビ / レーダーを使用する

携帯電話で通話中にナビ / レーダー (HFP/HSP) を受信すると、電話通話と GPS ナビゲーションガイダンスをミックスして同時出力されます。

通話と GPS の使用



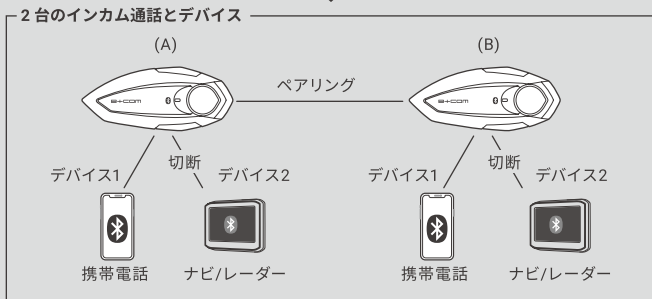
インカム通話（2台）とデバイスを併用する

音楽再生中のインカム通話

(A) と (B) が音楽を聴いている状態でインカム通話が開始されると、(A) と (B) 両方ともデバイスからの音楽再生が停止して、それぞれの「デバイス 2」との接続は通話安定化のため切断します。

インカム通話中の電話着信

(A) と (B) が通話中に (A) へ電話着信があると着信音が鳴ります。その状態で (A) のメインボタンを 1 回押すと、(A) と (B) のインカム通話が一旦保留され、電話に応答します。その間、(A) と (B) は無音状態となります。(A) の通話が終了すると、インカム通話が自動的に再開されます。



- ◎ (A) と (B) は、インカム通話中にそれぞれ 1 つのデバイスとの接続を維持できますが、インカム通話と音楽 / 電話 / ナビゲーションを同時に再生することはできません。
- ◎ 電話の着信音とインカム通話は同時に再生されません。着信音でインカム通話が切断されることはありません。
- ※ インカムペアリング情報があると、デバイス 2 への自動再接続は実行されません。インカムのオートコネクトタイムアウト、またはキャンセル操作後、デバイス側の手動操作によりデバイス 2 へ接続可能です。

🔊 サウンド

自動再接続切断時「ポッポッポッ・プー」（ピープ音）

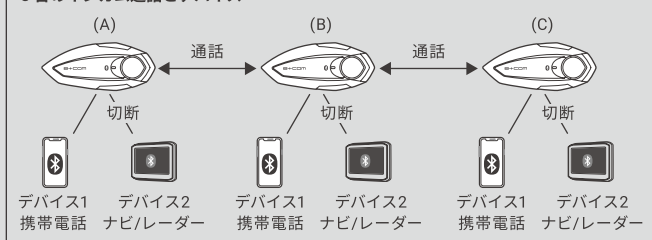
- ◎ すべての機器との動作を保証するものではありません。また、B+COM および通信相手のデバイスのソフトウェアアップデートにより動作が変更となる場合があります。

インカム通話（3台）とデバイスを併用する

(A)、(B)、(C)のそれぞれが「デバイス1」と「デバイス2」の両方に接続している場合にインカム通話が始まると、(A)、(B)、(C)はそれぞれの「デバイス2」との接続を通話安定化のため切断します。

3台のB+COM TALKがインカム通話中は、それぞれの「デバイス1」に接続されているデバイスの音楽は再生できません。

3台のインカム通話とデバイス



- ◎ (A)、(B)、(C)は、インカム通話中にそれぞれ最大1台のデバイスに接続できます。また、インカム通話中に音楽 / 電話 / ナビなどを同時に再生することはできません。
- ◎ インカム通話中の電話着信音は通話と同時に再生され、インカム通話が中断されることはありません。
- ◎ (B)が電話応答した場合、(A)と(C)のインカム通話が一旦保留され、(B)は電話に応答します。その間、(A)と(C)は無音状態になります。(B)の電話通話が終了すると、インカム通話が自動的に再開されます。

各機能の優先順位

B+COM TALKは、以下の機能優先度に応じて動作します。

- | | | |
|------------------------|-----------|---|
| ↑ (優先度 高)
↓ (優先度 低) | ・ 電話通話 | 優先順位の低い機能は、優先度の高い機能によって中断されます。 |
| | ・ インカム通話 | ・ 例えば、音楽再生中にインカム通話が始まると音楽が中断され、またインカム通話中に電話着信に応答するとインカム通話が切断されます。 |
| | ・ レーダー探知機 | ・ 優先度が最高の電話通話とレーダー探知機が出力された場合、レーダー音声は同時出力されます。 |
| | ・ 音楽再生 | |

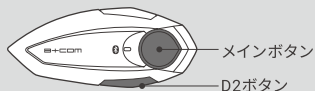
本体を初期化する

<設定・登録情報をリセットする>

適正な操作を行ってもペアリングがうまくできない、ボタンを押しても反応しないなど、正しく動作しない場合は、登録情報のリセット操作を行い、再度、各デバイスとのペアリングを行ってください。

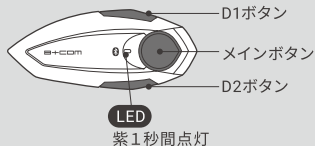
① 電源オフ

メインボタンと D2 ボタンを同時に 2 秒以上押す



② B+COM TALK の操作

メインボタンと D1 ボタン、D2 ボタンを同時に 3 秒以上押す



🔊 サウンド「オールリセット完了」

B+COM TALK本体仕様

※ 本仕様は予告無く変更する場合があります。

本体サイズ	: W93.9 mm × H39.4 mm × D25.4 mm
本体重量	: 36 g
最大通話可能人数	: 3人
ユニバーサル通話	: 対応
Bluetooth バージョン	: Bluetooth 5.1
対応プロファイル	: HSP,HFP,A2DP,AVRCP
出力レンジ	: Class1
連続使用時間	: インカム通話 最大約 11 時間 / 音楽再生 最大約 12 時間
充電時間	: 約 2 時間
防水防塵性能	: IP67 相当
保証期間	: ご購入から 1 年間
スピーカー	: 外径Φ 40 mm × D10.5 mm ネオジウムマグネット インピーダンス 32 Ω

こんなときは

下記のような場合は、本マニュアルをもう一度ご確認ください。それでも解決しないときは、弊社 WEB サイト (sygnhouse.jp) 内、「よくあるご質問」をご覧ください。保証書に記載されている連絡先までお問い合わせください。

電源に関するトラブル

「電源が入らない」

充電が正しく行えていない可能性があります。
充電を行ってください (10 ページ参照)。

「充電ができない」

AC アダプタと充電ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

音声に関するトラブル

「音が聞こえない」

スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。

「音が小さい」

- ① B+COM TALK 本体および接続デバイス両方のボリュームを上げてください。
- ② スピーカーの取付け位置をご確認ください。スピーカーの中心と耳の穴の中心が重なるように設置してください。

通信に関するトラブル

「ペアリングできない」

「再接続が不安定」

「電話に応答できない」

B+COM TALK のオールリセット (32 ページ参照) を行い、接続デバイス (スマートフォンなど) に残る B+COM TALK の登録情報を消去した後にデバイスを再起動して再度ペアリングを行ってください。 (12 ~ 23 ページ参照)

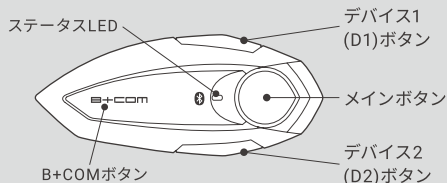
※ B+COM TALK のオールリセットだけでは正しく接続できない場合があります。

※ Bluetooth 機器の機種によっては、その特性・仕様・設定・使用状況等により、操作方法が異なる事や、動作が限られたり、不安定な状態、プログラム通り機能しないなど正常に動作ができない場合があります。

よくある
ご質問は
こちら



操作早見表



電源

機能	操作方法	LED 表示
電源オン	メインボタンと D1 ボタンを同時に 2 秒以上押す	青 1 秒間点灯→青点滅
電源オフ	メインボタンと D2 ボタンを同時に 2 秒以上押す	赤 1 秒間点灯→消灯
電池残量の確認	「電源をオンする／電源をオフにする」	青 1 秒間点灯→80% 紫 1 秒間点灯→50% 赤 1 秒間点灯→30% 赤 2 回点滅 →要充電
オールリセット	電源オフ状態で、メインボタン、D1 ボタン、D2 ボタンを同時に 3 秒以上押す	紫 1 秒間点灯

ペアリング

機能	操作方法	LED 表示
「デバイス 1」にペアリング	電源オンの状態から、D1 ボタンを 3 秒以上長押しする	青 + 赤高速点滅
「デバイス 2」にペアリング	電源オンの状態から、D2 ボタンを 3 秒以上長押しする	緑 + 赤高速点滅
インカムをペアリング	電源オンの状態から、B+COM ボタンを 3 秒以上長押しする	ペアリングモード中： 赤高速点滅 サーチ中： 赤点灯

デバイス接続時の操作

※ 音楽プレーヤー操作はデバイス 1 に接続された機器のみ操作可能

機能	操作方法	補足情報
音量調整	音量上げる：D1 ボタンを押す 音量下げる：D2 ボタンを押す	「デバイス 1」、「デバイス 2」それぞれ個別に音量調節可 ^{*1}
音楽プレーヤー 曲の再生 / 一時停止	メインボタンを押す(ボタンを押すごとに再生、一時停止を繰り返す)	A2DP 接続時、 AVRCP 機能対応機器のみ
音楽プレーヤー 曲のスキップ	D1 ボタンを 1 秒以上長押し	A2DP 接続時、 AVRCP 機能対応機器のみ
音楽プレーヤー 曲の頭出し	D2 ボタンを 1 秒以上長押し	A2DP 接続時、 AVRCP 機能対応機器のみ
音楽プレーヤー 曲の巻き戻し	D2 ボタンを 1 秒以上長押し後、 もう一度 D2 ボタンを長押し ^{*2}	A2DP 接続時、 AVRCP 機能対応機器のみ
音声認識機能 起動	メインボタンを 2 回押す	Siri/Google アシスタント 対応

*1「デバイス 1」のみ、または「デバイス 2」のみ音が出力されている状態で音量調節操作をすると個別に設定ができます。

*2D2 ボタンを長押ししてから再び D2 ボタンを押すまでの間隔は、接続デバイスにより異なります。

電話応答の操作

機能	操作方法	補足情報
着信応答	着信中、メインボタンを押す	
着信拒否	着信中、メインボタンを 2 回押す	
終話	通話中、メインボタンを押す	
リダイヤル発信	メインボタンを 3 秒以上長押し	「デバイス 1」接続のみ発信でき、「デバイス 2」接続では発信できない

インカム通話の操作

機能	操作方法	補足情報
インカム通話開始	自動：電源オンで自動接続 手動：B+COM ボタンを押す	ペアリングしたすべての B+COM TALK
インカム通話終話	B+COM ボタンを押す	接続中のすべての B+COM TALK
音量調整	音量上げる：D1 ボタンを押す 音量下げる：D2 ボタンを押す	

保証規約

本製品の保証期間は購入日から1年間とし、その期間内に製品の製造上の不良または材質の不良が発生した場合、弊社の判断で、無償修理、製品の交換もしくは同等品への交換を行います。ただし、本体ユニット以外のマイクやスピーカー、面ファスナー等は消耗品のため保証対象外となります。

下記条件の場合は、有償（修理費用、送料等）となる場合があります。また、製品の状態によっては修理を承れない場合があります。

- ・ ご使用環境（接続機器、バイク、ヘルメット等）に起因する不具合、故障
- ・ 本製品の耐久性を超える負荷、環境下でのご使用において発生した故障
- ・ 誤った使用方法により発生した故障
- ・ 使用過程での紛失や劣化、破損、接触不良等が生じた場合
- ・ 弊社サポート以外（お客様自身によるもの、他社等）での改造・修理・調整・部品交換等をされた場合

また、下記条件に関しましては、弊社では一切の保証・責任を負いかねます。

- ・ 天災による故障
- ・ 本製品の故障による付随的および間接的な損害（事故、傷害、時間の損失、不便の発生、利益の損出、付随的に発生した費用等）

本保証規定は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理依頼、および海外でご利用いただいている製品に関しては保証をお受けになれません。

製品を送付する際には必ず下記の情報を添付してください。添付なき場合、保証は無効となり、有償（修理費用、送料等）での対応となります。

1. 販売店の押印、並びに購入日が記入された保証書 *
2. 送付内容（製品の種類と数量）
3. お客様のお名前と電話番号
4. 送付理由および故障内容
5. 返送先のご住所

* 保証書に店舗押印がなく購入日が記載されていない場合は、購入日（購入店舗）を確認できるレシート、領収書も添付してください。また、お客様自身で購入店舗、購入日を記入したものは無効となります。

保証期間は製品が最初に購入された日を起算とします。インターネットオークション等で購入の場合は、保証期間はインターネットオークション等の販売者より引き継ぐことになり、インターネットオークション等での購入日から1年間ではありません。販売者より引き継いだ保証書（購入日、押印未記入の場合は購入日が確認できるレシート、領収書）が必要となります。

保証期間は弊社での修理・交換等により新たに発生や、延長はされません。当初の保証期間の満了日をもって保証期間は終了いたします。

保証規約

検査・修理依頼時の貸出機、代替品のご提供は行っておりません。検査・修理依頼時のお申込み方法については弊社修理ページをご確認ください。

<https://sygnhouse.jp/contact/>

修理に関するお問い合わせ ▶



本ユーザーズマニュアル（製品仕様、保証規定等）の内容は製品アップデート等により、予告なく変更される場合があります。最新の製品情報、保証規定については弊社 WEB ページをご確認ください。

<https://sygnhouse.jp/support/manual/>

ユーザーズマニュアル ▶



B+COM TALK製品情報

<https://sygnhouse.jp/products/bcom/bcom-talk/>



製品のラインナップ、価格および仕様は、予告なく変更または、生産終了する場合があります。予めご了承ください。

カスタマーサポート / 製品送付先

株式会社サイン・ハウス

〒 211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子 13-2 N 棟 11 階

TEL : 044-400-1979 FAX : 044-982-3777

<https://sygnhouse.jp/support/>